

2018.5.3 憲法集会 in いわてでのあいさつ

憲法集会ご参加の皆さん。ご苦労様です。日本共産党を代表して連帯のあいさつを送ります。

今、日本の政治は民主主義の土台が壊される異常事態に陥っています。「森友」「加計」疑惑、自衛隊の日報隠ぺいと文民統制の破壊、財務省のセクハラ事件、裁量労働制のデータねつ造、学校教育への不当な圧力と介入一どの問題も安倍政権による国政の私物化と強権政治によるものです。安倍政権はかつてなく行きづまっています。しかし、安倍首相は一昨日も「違憲論争に終止符を打つのが政治家としての責務」だと述べ、自衛隊の存在を明記する 9 条改憲に異様な執念を燃やしています。

自民党大会で示された 9 条改憲の内容は、9 条 1 項、2 項は残し、新しく 9 条の 2 に「必要な自衛の措置をとることを妨げず、そのための実力組織」としての自衛隊の保持を明記するとしています。「自衛」の範囲には限定がなく、集団的自衛権の行使が含まれます。「戦争をしない」「戦力を持たない」と決めた 9 条 1 項、2 項を文字通り空文化し、無制限の海外での武力行使まで可能にするものです。

自衛隊のイラク派兵日報の隠ぺいは、「戦闘の拡大」という憲法違反の海外派兵の実態を隠すものでした。南スーダン PKO に派兵された自衛隊員は「死を覚悟した」「部隊が全滅すると思った」と告白しています。安保法制＝戦争法が強行成立させられたもとの、海外派兵が常態化し、相手国に届くミサイルや攻撃型空母の保有まで踏み込もうとしています。

4 月 27 日には、韓国と北朝鮮との南北首脳会談が開かれ、朝鮮半島の非核化と平和体制の構築に向けた画期的な一歩を踏み出しました。安倍首相は北朝鮮の核開発を国難だと言って脅威をあおり、解散総選挙に利用するとともに、対話を否定してきました。安倍外交路線の破たんも明らかです。平和憲法を持つ国にふさわしく北東アジアの平和と安定を実現する積極的な外交に踏み出すことこそ必要です。

昨日のメディアの世論調査では、安倍政権の憲法改正に反対が 58%、安倍首相の 9 条改憲案に反対が 53%、政策優先度では憲法改正は最下位の 11%となっています。

憲法と国民をないがしろにする政治を変える力は、政治的立場や思想信条の違いを超えた市民と野党の共闘です。安倍 9 条改憲を許さない！ 3000 万署名を集めきり、9 条改憲を必ず阻止しましょう。安倍内閣の総辞職を実現しましょう。

市民と野党の共闘をさらに前進させる決意を述べ連帯のあいさつといたします。